

ECHIGO-
TSUMARI
ART FIELD 2026 WINTER

大村雪乃

断片的な逸話 (アネクドート)



《くらくてきむい》2026
※画像はイメージ

奴奈川キャンパス企画展

2026.1.24-3.8 Sat,Sun&holidays



《SHIBUYA rainy day》2025



《HOME》2020

奴奈川キャンパス企画展

「断片的な逸話（アネクドート）」

時間 | 10:00-16:00
開館日 | 2026年1月24日（土）～3月8日（日）の土日祝公開
料金 | 一般 800 円、小中学生 400 円もしくは
「越後妻有の冬 2026」共通チケット



子ども五感体験美術館として 2024 年にリニューアルした奴奈川キャンパスにて、文房具用の丸シールを用いて絵画をつくる作家・大村雪乃による企画展を開催いたします。作家の近作の中では特別大きなサイズの新作となる越後妻有の夜景の絵画と、都会の夜景を描いた絵画を、新しい展示手法を交えてインスタレーションとして公開します。



展示会場のイメージ

大村雪乃

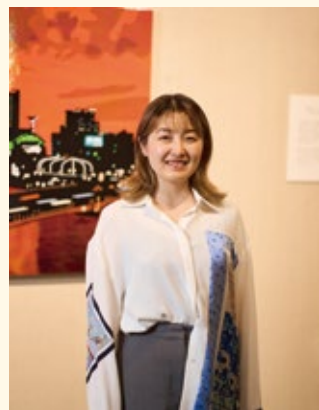


Photo Kiyota Chihiro

▼作家プロフィール

1988 年 生まれ、東京在住。2013 年 多摩美術大学美術学部絵画学科油画 卒業。大学在学中に文房具の丸シールで夜景を表現する絵画を発表し、素材の意外性とビジュアルの美しさで 2012 年 Tokyo Midtown Award にて入選、オーディエンス賞を受賞。

▼作家コメント

東京在住の私にとって、夜景は畏怖すべきものではなく、明け方まで明るい夜の明かりに退屈さえしていた。ところが視察で十日町の夜を一人で過ごす事となり、孤独を初めて味わったことで、都会の夜景と田舎の夜の概念が大きく覆された。十日町の夜は暗く不安で、窓際のブナ林を観察したり、自分が野生動物に襲われる妄想を繰り返し、明け方になるまで眠れなかった。

以上の心境を記したエッセイを窓辺にカットティングシートで貼付し、横幅 3m 縦 1.5m に及ぶ十日町の夜の森を絵画で再現する。都会では想像し得ない体験を通して、自身が経験してきた人生観の脆弱性をテーマに絵画とエッセイで表現する。

関連ワークショップ

▼丸シールワークショップ

越後妻有の伝統行事「鳥追い」をモチーフにした丸シールアートをワークショップとして実際にお楽しみいただけます。

日時 | 企画展開催中いつでも
場所 | 奴奈川キャンパス
所要時間 | 30 分～
料金 | 800 円（入館料は別途）
※作家は滞在しません



▼雪まつり連携プログラム

十日町雪まつりにあわせて、大村雪乃による巨大アートフォールが出現。作家が滞在しながら、丸シールを貼って作品をつくります。どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

日時 | 2月21日（土）、22日（日）
時間は雪まつり会場に準じる
場所 | 十日町市立西小学校グラウンド
雪まつりメイン会場
（新潟県十日町市寅甲365）
料金 | 無料



雪上グラウンド

普段はなかなかできない雪遊び体験を手軽にできる雪上グラウンドが今年も登場！ 巨大福笑いや雪玉あてなど、積雪量に応じて遊べる内容が交替わります。また、2月15日（日）は、鞍掛純一＋日本大学芸術学部彫刻コース有志による「大地のおくりもの」の雪像が登場します。

日時 | 2026年1月24日（土）～3月8日（日）の土日祝
10:00-16:00 ※荒天の場合は中止
場所 | 奴奈川キャンパス グラウンド
※濡れてもよい、動きやすい服装でのご来場をおすすめします



Photo Nakamura Osamu



Photo Nakamura Osamu

奴奈川キャンパス

▼施設情報

新潟県十日町市室野 576（旧奴奈川小学校）
・ ほぼほぼ線まつだ駅から車で 10 分
・ 大地の芸術祭オフィシャルツアーでの立ち寄りあり

▼お問合せ

「大地の芸術祭の里」総合案内所
☎025-761-7767



Photo Hashimoto Takao

日本博 JAPAN CULTURAL EXPO 2.0



大地の芸術祭
公式 HP



日本博 HP